

【第4次京丹後市観光振興計画コンセプト（案）】

資料6

案	タイトル	ポイント
A案	なつかしい未来のふるさと ～海・森・里山つながる味わいと歴史文化の郷～	<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後がもつ、なつかしいふるさとの魅力を再発見し、未来に向けて重ね合わせ、温めなおし、「新たな観光価値」として世界へ発信する。 ・国内外から、なつかしさを感じつつも、未来を想像できる「心のふるさと」として求心力を高める。 ・海・森・里山の自然と、それらが育む歴史、文化の全てが観光資源となる。多種多様な「価値」をつなぎ合わせて、魅力溢れるふるさとを実現する。
B案	進化するふるさと京丹後。 ～ヒトつながる感動時間～	<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後には、いたるところに「なつかしさ」が溢れている。その「なつかしさ」を進化させ、未来につながる「新たな価値」をつくる。 ・京丹後にある最大の価値は「人」。自然、歴史、文化、あらゆる資源と「人」がつながり、過去から未来へとつながっている。 ・京丹後に流れる「時」そのものが感動溢れる観光価値。
C案	人の環 ^わ 広がるふるさと観光立圏 ～なつかしい未来、会いに行く京丹後～	<ul style="list-style-type: none"> ・人に注目、人が人を呼ぶ。人のコミュニティが大事 ・共感するイメージ。 ・会うという言葉で観光のニュアンスを入れる。 ・観光で地域が成り立つオール京丹後を、観光立圏で表現。
D案	Belt of Venus、京丹後。 ～ふるさと、ヒト、自然、未来がとけこむまち～	<ul style="list-style-type: none"> ・日の出前と日没直後に現れる「ビーナスベルト」を、インバウンドも加味して英語表記。 ・全てが溶け込む幻想的な景色であり、京丹後にある全てのものが溶け込み構成されていることを標記。
E案	市民全員エヴァンジェリスト、京丹後。 ～ふるさと、ヒト、自然、未来まるごと観光資源～	<ul style="list-style-type: none"> ・市民それぞれが伝道師であり、総ぐるみで京丹後市をPR。 ・京丹後にある全ての景色、ヒト、自然が観光資源である。
F案	彩り・味わい京丹後 -海・森・里山つながりの郷-	<ul style="list-style-type: none"> ・本市一番の魅力の「自然」を前面に打ち出し表現 ・「海・森・里山」で通年観光を表現 ・「自然」の素晴らしさを伝えるためには、「人」の介在が必要…人との「つながり」 ・豊かな自然を未来へ持続させる…次世代への「つながり」 ・「食」も打ち出したい